

栃木県内における病原体サーベイランスの状況

栃木県及び宇都宮市では感染症発生動向調査事業として、病原体サーベイランスを実施しています。
病原体サーベイランスの対象となる疾病は、1類から5類の全数把握疾病(一部の疾患を除く)および5類定点把握疾病(性感染症・薬剤耐性菌感染症を除く)です。5類定点把握疾患は、指定された県内20ヵ所の病原体定点医療機関(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点)で診断された患者の検体を対象としています。

令和3(2021)年10月分

(1) 病原体検出状況一覧(保健環境センター提出分)

No.	年齢	臨床診断名	材料の種類	検査方法	成績
1	50歳代	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	菌株	分離培養(人工培地)、遺伝子検出(PCR)、ディスク拡散法	CRE: IMP型カルバペネマーゼ産生株
2	70歳代	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	菌株	分離培養(人工培地)、遺伝子検出(PCR)、ディスク拡散法	CRE: CIT型カルバペネマーゼ非産生株
3	60歳代	腸管出血性大腸菌感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出等(凝集反応)、遺伝子検出(LAMP法)	EHEC O型別不能 VT1(-)、VT2(+)

(2) 病原体検出状況一覧(宇都宮市衛生環境試験所提出分)

No.	年齢	臨床診断名	材料の種類	検査方法	成績
1	中学生	腸管出血性大腸菌感染症	菌株	分離培地(人工培地)、抗原検出等(凝集反応)、遺伝子検出(LAMP法)	EHEC O157 VT1(+)、VT2(+)
2	50歳代	腸管出血性大腸菌感染症	菌株	分離培地(人工培地)、抗原検出等(凝集反応)、遺伝子検出(LAMP法)	EHEC O157 VT1(+)、VT2(+)
3	幼児	腸管出血性大腸菌感染症	菌株	分離培地(人工培地)、抗原検出等(凝集反応)、遺伝子検出(LAMP法)	EHEC O157 VT1(+)、VT2(+)